

除菌水 あるか

作成日：2020年6月1日

## 製品安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名	除菌水 あるか
会社名	株式会社 大関警備
住所	福島県郡山市開成5丁目6番2号
電話番号	81-24-921-0653
FAX番号	81-24-921-5512

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学名	次亜塩素酸水
有効塩素	200mg/L (生成時の基準値)
化学特性 (化学式)	HClO
主成分	水道水 (カルシウムイオン、マグネシウムイオン) 次亜塩素酸 (HClO) 次亜塩素酸イオン (ClO <sup>-</sup> ) 二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )

### 3. 危険有害性の要約

分類の名称	類基準に該当しない。
危険性	なし
有害性	なし

### 4. 応急処置

眼に入った場合	無刺激、応急手当不要
皮膚に付着した場合	無刺激、応急手当不要
吸入した場合	無反応、応急手当不要
飲み込んだ場合	少量であれば応急手当不要

### 5. 火災時の措置

消火方法	本品は燃えない。 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所へ移す。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
危険性	なし

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	こぼれた場所は滑りやすいので注意する。
環境に対する注意事項	無害、無毒であるため、特別な措置は必要なし。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

1. 飲料水ではないため、飲用しないでください。
2. 眼の洗浄には使用しないでください。
3. 有機物との接触により有効成分が分解されてしまうため、有機物の混入を避けてください。

### 保管

容器は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。

## 8. 曝露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない。

### 許容濃度

設定されていない。

### 設備対策

不要

### 保護具

#### 呼吸器系保護具

不要

#### 手の保護具

不要

#### 眼の保護

不要

#### 皮膚及び身体の保護具

不要

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

無色透明の液体

### 臭い

わずかな塩素臭

### pH (水素イオン指数)

pH 5.4 ± 0.2 (生成時の基準値)

### 比重

データなし

### 氷点

-1℃

### 沸点

100℃

### 蒸気圧

データなし

### 蒸発率 (水=1)

データなし

### 蒸発速度

データなし

### 溶解性

完全水溶

### 引火点

なし

### 発火点

なし

### 有効塩素

200 mg/L (生成時の標準値)

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性・反応性

1. 常温保存中にも微量が分解され、pHがアルカリ性に移行し、有効塩素濃度が低下する。
2. 日光、特に紫外線の照射により急速に分解が促進される。
3. 有機物との接触により急速に分解が促進される。

### 可燃性

なし

### 発火性

なし

### 避けるべき材料

なし (金属類の錆びの発生及び染色布の色落ちは水道水程度)

### 危険有害な分解生成物

なし

1 1. 有害性情報	
急性毒性	経口毒性無し 吸入：ミスト毒性無し
皮膚腐食性／刺激性	無刺激性
眼に対する危篤な損傷 ／刺激性	無刺激物
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
変異原性	データなし
1 2. 環境影響情報	
分解性	有機物との接触により急速に分解される。
蓄積性	データなし
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	危険・有害物ではないので、そのまま下水に流して構わない。
包装容器	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4. 輸送上の注意	
陸上輸送	危険物としての分類なし
輸送の特定の安全対策 及び条件	1. 栓を上にして積載する。 2. 運搬に際しては容器の漏れがないことを確かめ、転倒、 落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
1 5. 適用法令	
労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進法 (P R T R法)	該当しない
消防法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
食品衛生法	該当しない
薬事法	該当しない
消費生活用製品安全法	該当しない
家庭用品品質表示法	該当しない
1 6. その他の情報	

#### 記載内容の取扱い

記載内容は上記日付時点で弊社が把握している情報に基づき作成したものであり、全ての資料や文献を調査したものではないため情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられることをお勧めします。

尚、塩素濃度、pHに関しては、保証値ではありません。